

令和7年度入学試験（一般中学生・帰国生）問題ミス（数学）に伴う追加合格について

令和7年度入学試験（一般中学生・帰国生）において、学力検査問題（数学）にミスがあることが判明しました。ミスは、外部者からの情報提供により判明したものです。確認したところ、下記のように、問題文の点および長さの添え字に誤りがあることが判明しました。そのために、当該問題については全員正解と取り扱うこととし、得点を修正しました。そのことを踏まえて改めて合否判定を行ったところ、本来合格とすべき受験者が複数名いることが判明しました。

本来合格とすべきであった受験生に対しましては、経緯と合格者になったということを説明し、お詫び申し上げ、ご了承をいただいております。

厳正・確実であるべき入学試験において、このような事態を引き起こし、受験生をはじめ関係者の方々に多大なご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。今回の事案を厳粛に受け止め、今後このようなことが生じないよう、チェック体制を強化し再発防止に努めてまいります。

なお、本件に関する詳細や追加合格者に関する情報は、関係者のプライバシーを侵害したり、二次被害を与えたりするおそれがあることなどから、公表を差し控えます。

記

誤		正
P ₁₄₈	→	P ₁₄₄
P ₁₄₉	→	P ₁₄₅
ℓ ₁₄₉	→	ℓ ₁₄₅
ℓ ₁₅₀	→	ℓ ₁₄₆

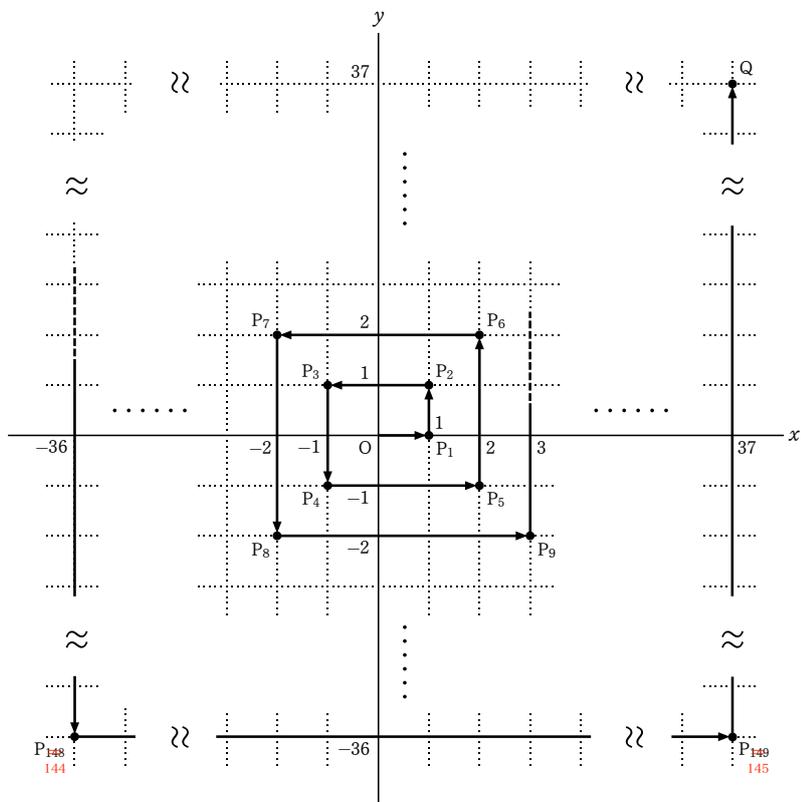
3 x 座標と y 座標がともに整数となるような点を格子点という。

次のページの図のように、点 $O(0, 0)$ から点 $Q(37, 37)$ までの『道』を定める。『道』は点 O から点 $(1, 0)$ 、点 $(1, 1)$ 、点 $(0, 1)$ 、点 $(-1, 1)$ 、点 $(-1, 0)$ 、 \dots 、点 $(37, 36)$ 、点 Q の順に格子点を通る。ただし、『道』は同じ格子点を一度しか通らない。『道』が折れ曲がる点を順に、 $P_1(1, 0)$ 、 $P_2(1, 1)$ 、 $P_3(-1, 1)$ 、 $P_4(-1, -1)$ 、 $P_5(2, -1)$ 、 $P_6(2, 2)$ 、 \dots 、 $P_{144}(-36, -36)$ 、 $P_{145}(37, -36)$ とする。このとき、次の各問いに答えなさい。

[1] 点 P_{20} の座標を求めなさい。

[2] 点 P_m の座標が $(-19, 19)$ のとき、 m の値を求めなさい。

[3] 線分 OP_1 、 P_1P_2 、 P_2P_3 、 \dots 、 $P_{144}P_{145}$ 、 $P_{145}Q$ の長さをそれぞれ $l_1\text{cm}$ 、 $l_2\text{cm}$ 、 $l_3\text{cm}$ 、 \dots 、 $l_{145}\text{cm}$ 、 $l_{146}\text{cm}$ とする。 $l_1 + l_2 + l_3 + \dots + l_n$ の値が 120 より大きい n のうち、最も小さい値を求めなさい。ただし、点 O から点 $(1, 0)$ までの距離、および点 O から点 $(0, 1)$ までの距離をそれぞれ 1 cm とする。



以上

令和7年3月7日
 国立大学法人東京学芸大学
 附属高等学校長

大野 弘